2021 年 5 月

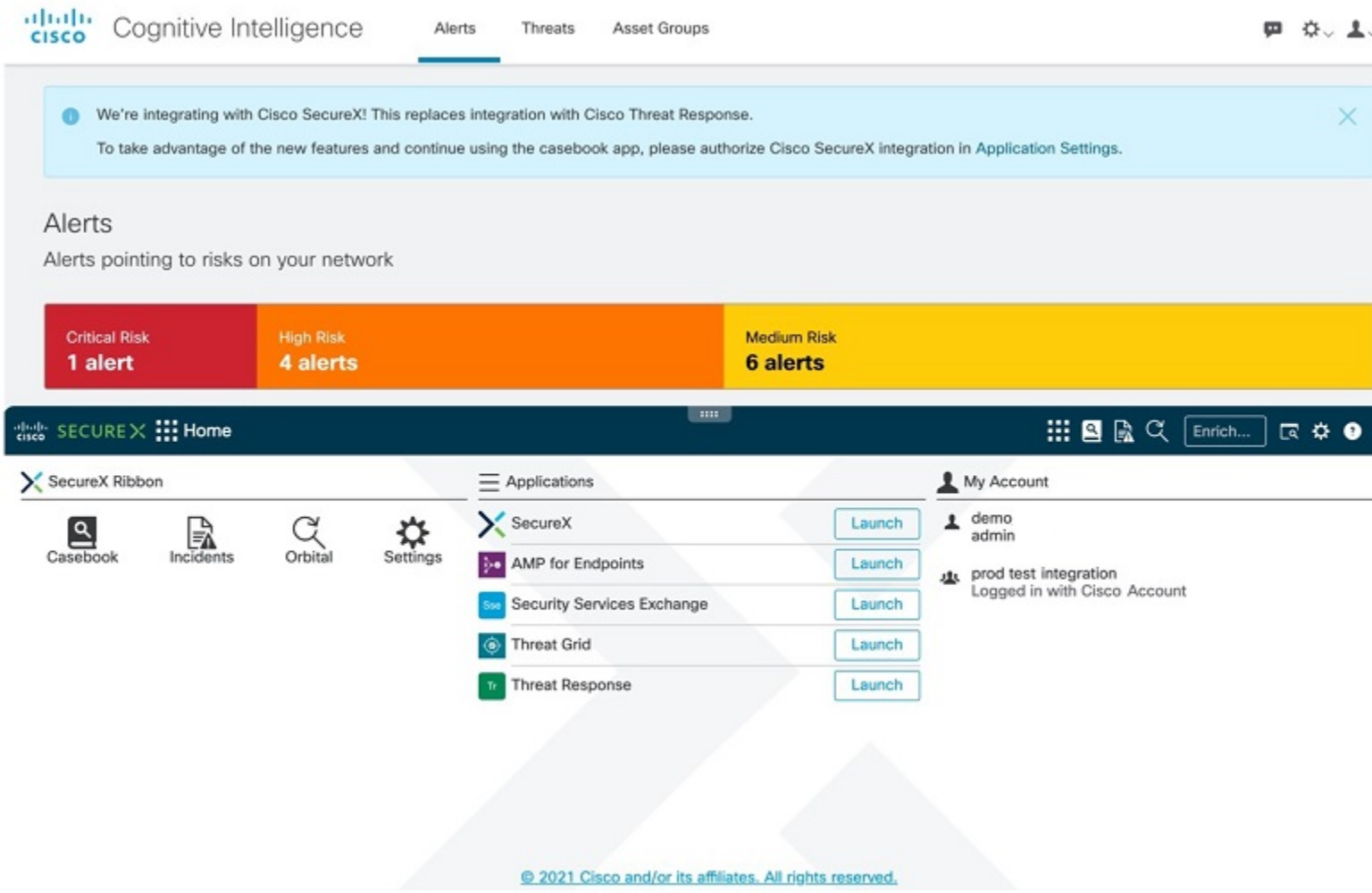
2021 年 5 月にリリースされた、シスコのクラウドベースの機械学習によるグローバル脅威アラートに関するアップデートです。

SecureX リボンのサポート

SecureX は、中央管理型コンソールであると同時に、可視性の統合、自動化の実現、インシデント対応ワークフローの迅速化、脅威ハンティングの改善を行う一連の分散機能でもあります。これらの分散機能は、SecureX リボンでアプリケーションおよびツールの形式で表示されます。

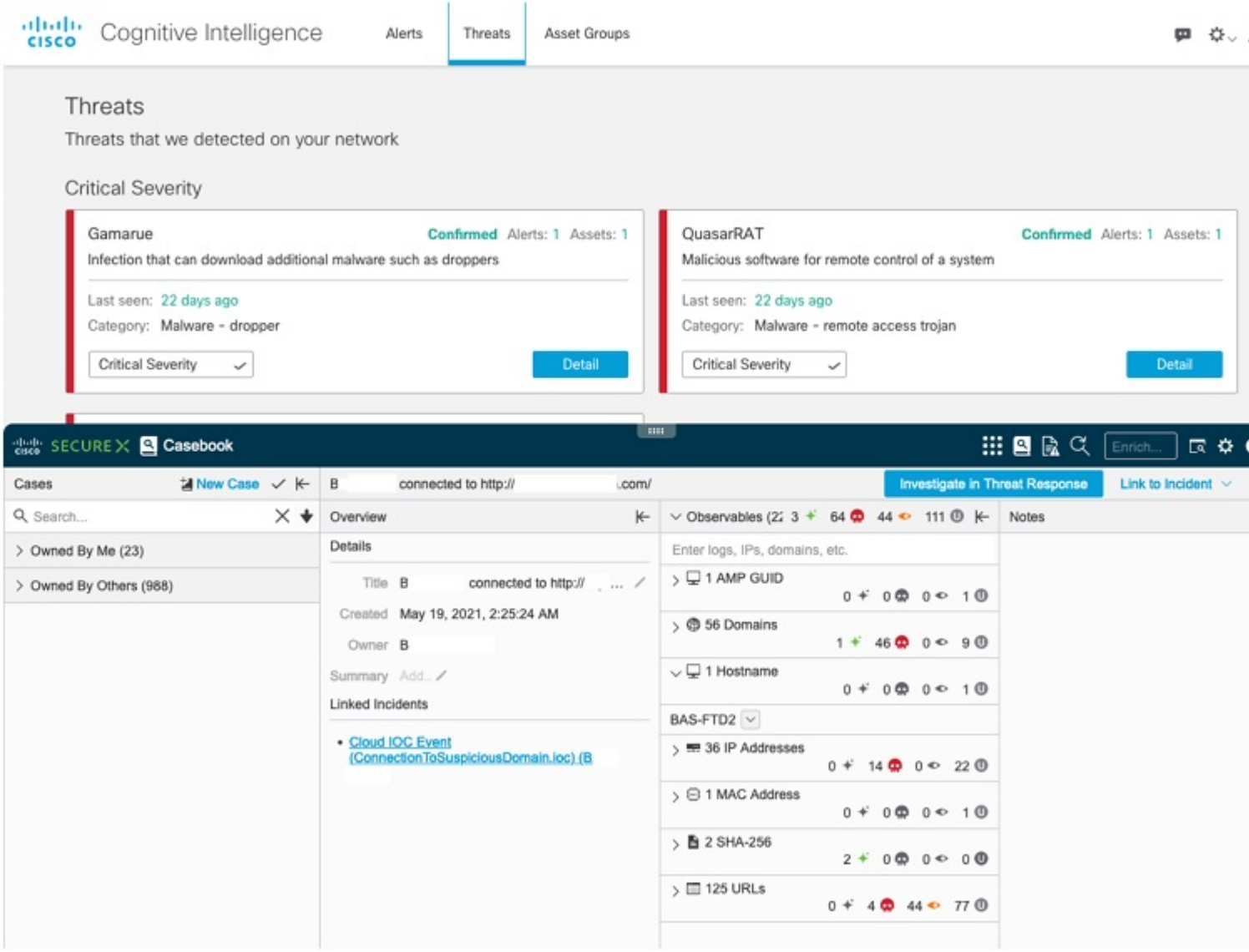
SecureX リボンがページ下部にあるグローバル脅威アラートでも使用できるようになり、環境内のダッシュボードと他のセキュリティ製品間を移動しても保持されます。これは、事例集やインシデントと調査結果を関連付けるのに役立ちます。

図 *1* : ページの下部にある ***SecureX*** リボン



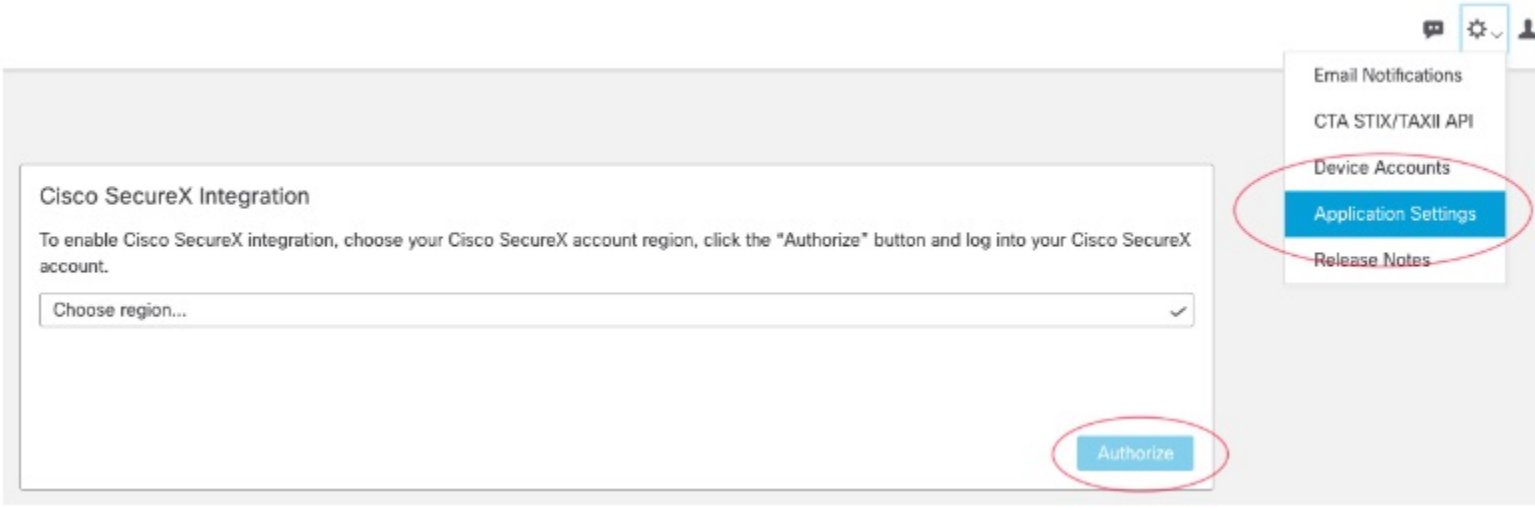
リボンを使用して、事例集、設定、およびその他のアプリケーションにアクセスできます。また、インシデントを表示し、監視対象を検索してエンリッチメントを追加することもできます。

図 *2 :* 例：***SecureX*** リボンを使用して事例集にアクセスする



この機能を有効にするには、ユーザが SecureX アカウントを持ち、アプリケーション設定で統合を承認する必要があります。

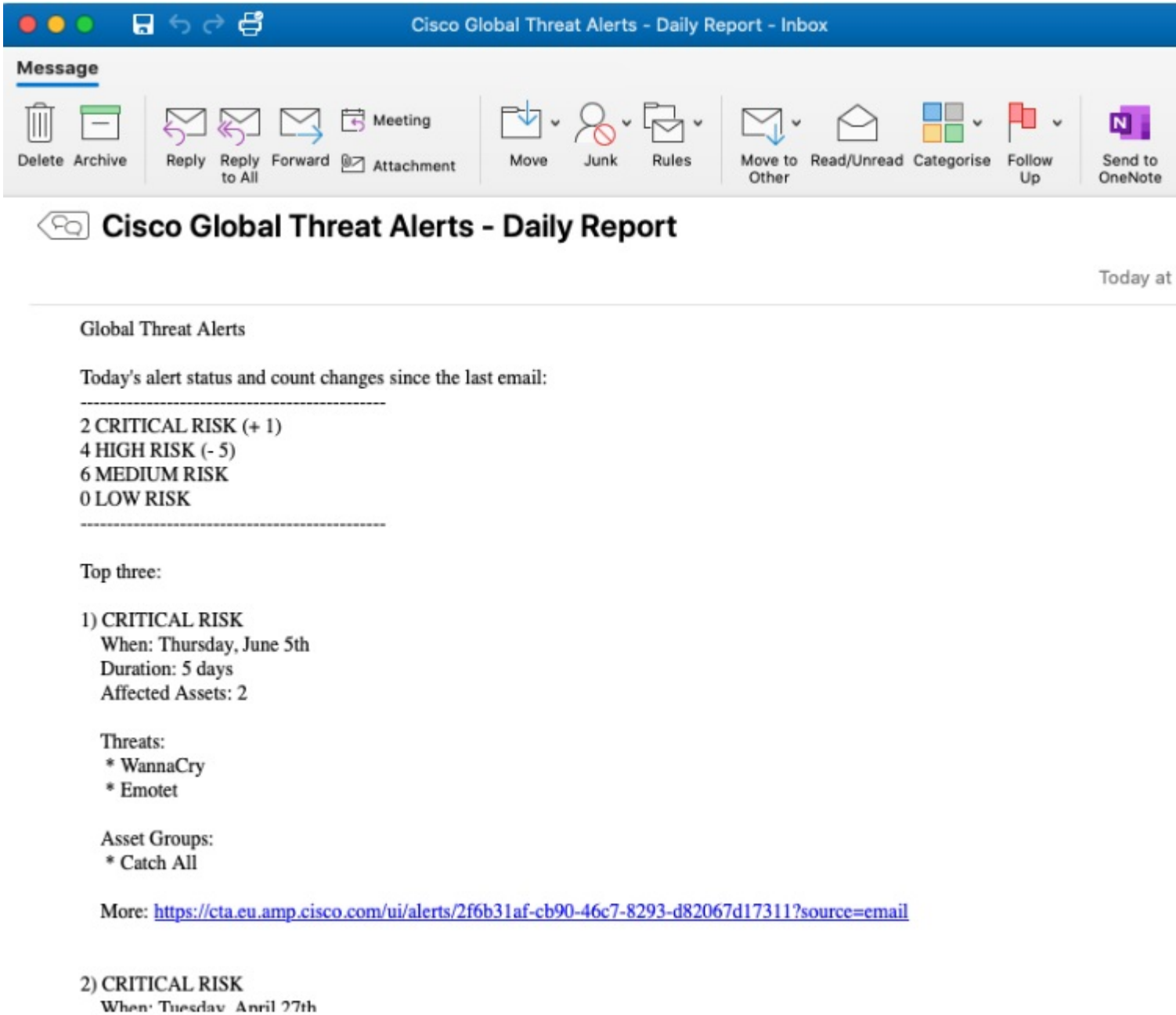
図 *3 : [*アプリケーション設定（***Application Settings***）*]* に移動し、***SecureX*** との統合を承認します。



更新された日次レポート電子メール

電子メール通知サービスが更新され、アラートダッシュボードと互換性のあるコンテンツが電子メールで送信されるようなりました。日次レポートの電子メールでは、アラートの現在のステータスと、報告されたアラート数の最近の変化が通知されます。

図 *4*：例：更新された日次レポートの電子メール



このサービスを有効にするには、グローバル設定メニューから [電子メール通知（Email Notifications）] を選択し、日次レポートを受信する電子メールアドレスを入力します。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。